

小売業（DX取組）

県内取組事例

事業者：株式会社田中書店（所在地）宮崎市
 資本金：1,000万円 業種：書籍・雑誌小売り業 従業員数：11名

スマホアプリ

クラウド

事業名：オンライン教科書販売システム構築事業



高校検定教科書のDXを活用した新しい販売経路の構築

【概要】

・高校生への教科書販売を、学生への対面販売からICT販売へと移行する。

【主な取組】

・スマホ・PCからのアクセス可能な販売システムの構築

【事業の目標】

（定性目標）

・このシステムを宮崎県内高校生の教科書販売のニューノーマルにする。

（定量目標）

・一年目の今年は少人数高校が採用したが、来年以降採用高校を増やしていき、数年後には10,000人が活用するようなシステムにしていく。

【取組を行う背景】

・昨今の出版不況・後継者不足・労働者不足にあえぐ書店が県内にも多数あり、10年後でも教科書供給能力を低下させないよう、少しでも長く継続できるよう、人的・時間的に制約される教科書販売の負担を軽減するために導入する。

【効果（成果）】



本年度採用したA高校は図のようなQRコードを配布し、生徒に連絡先等を登録してもらったがそのオペレーションが一番困難であった。来年度は在校生は登録済みの為、こちらの負担軽減をさらに実感できる。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

・弊社の販売高校の生徒総数は約6,800人（R4年）。そのうち10年後には90%の生徒をこのシステム販売でカバーしたい。
 また近いうち訪れるであろう書店大量定点閉業に伴う教科書供給能力の低下を防ぐため、システムの使用無料貸与を行うことで県内の高校の販売方式を統一したい。

